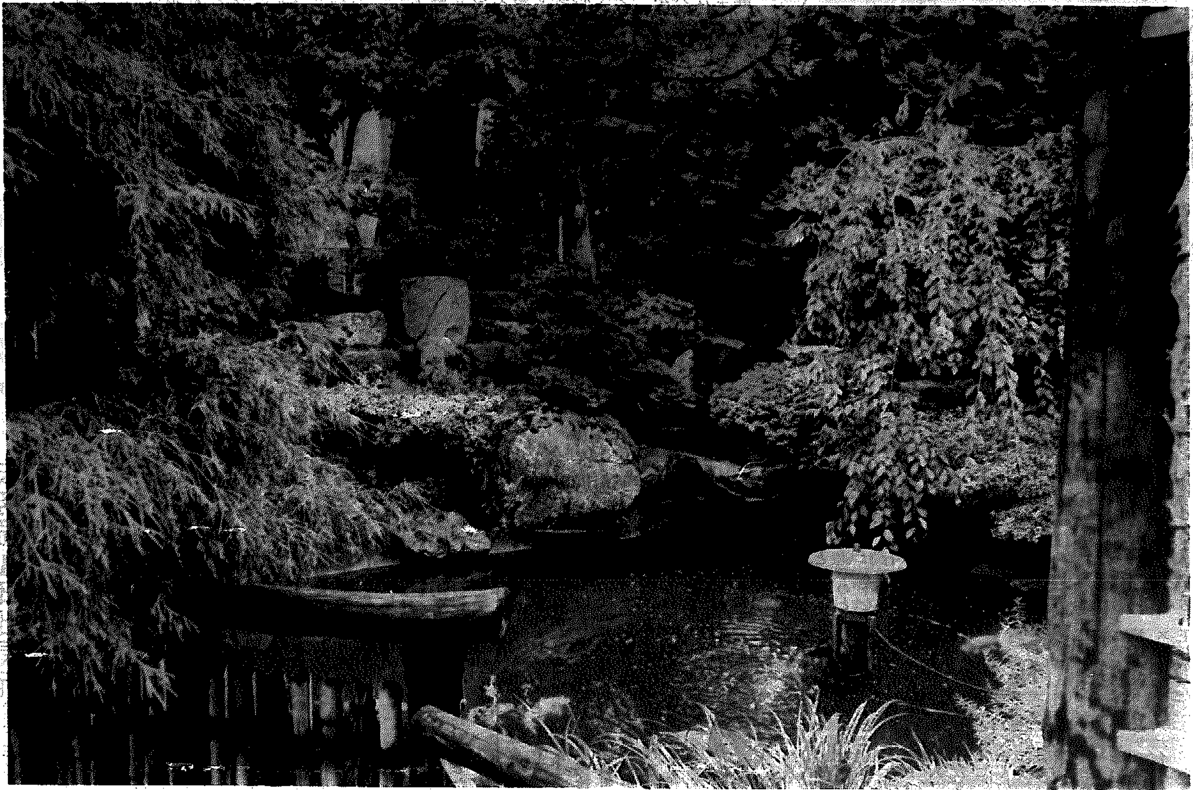
'76 8
No. 51
昭和51年8月1日発行
発行 横越村役場

広報よこごし

おもな内容

1. 不燃物ゴミ等収集中止（1P）
2. 中学、高校生の非行化をなくそう（2P）
3. 法務局出張所存続の方針でる（2P）
4. ついに1億円を突破する（2P）
5. 水を節約しましょう（3P）
6. 国民年金だより（3P）
7. 知っておきましょう（3P）
8. 高校生父兄懇談会開く（4P）
9. 青年大会下越予選（4P）



（横越　神田惣次郎氏庭園）

八月十日分から
不燃物ゴミを収集中止
ゴミ減らし、自家処理にご協力を

ゴミ処理については、新潟、亀田、黒崎、横越四市町村で広域処理体制をとっており、焼却できる一般ゴミは、焼却場へ運ばれておりますが、いわゆる不燃物と称されるガラス、せともの、缶、ブリキ類と燃焼のとき有毒ガスを発生させるビニール、プラスチック類の処理については、各市町村の責任で処理されることになっており、それぞれ埋立て等によって処理されています

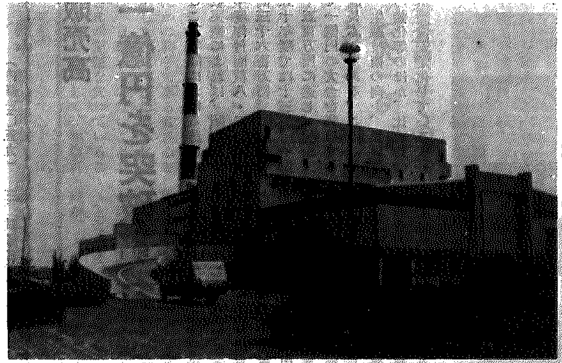
最近ゴミの量が総体的に多くなり、又分別収集しているものの分別が未だ不十分なことも手伝い、不燃物ゴミ等が殊に増大の一途をたどっており、本村の埋立地はすでに満杯に達し、八月十日以降のゴミは埋立て不可能となってきました。

このことは、以後埋立てにのみ頼る処理を根本的に改める時期にきており、又、地域的条件から埋立地確保が困難な実情から、しばらくの間不燃物ゴミ等を一時ストップし今後の埋立地確保をも含め、抜本的対策を迫られている現状です。

よって差迫った実態を村民から知ってもらうとともに、厳しい分別、不燃物ゴミ等の自家処理等々について一層の協力を願うほか、消費生活の立場からもゴミの発生、処理の面を改めて大いに研究する必要があります。

村では、さる七月二十六日嘱託員会議を招集し、差迫ったゴミ対策について実情を報告するとともに、村民に実情を明らかにし、協力の徹底が図れるよう要請いたしました

なお、ゴミ対策に関する部落説明会は八月中旬すぎから実施しますので、特に家庭の台所をあずかる主婦のご出席をお願いいたします。



亀　田　焼　却　場

ゴミは分別しないとソン

①ゴミを出す日時はルールどおりに。（あまり早く出すと犬猫に破られ道路がよごれます。

②台所の生ゴミの水切りを十分に。（袋から汚水がもれ、臭気と汚水で他人に迷惑をかけます）

③燃やせるゴミ、燃やせないゴミはきちんと区別して。（燃やせるゴミに約3割も燃やせないゴミが混入してるといわれます）

④捨てる前にもういちど再利用を考えて。（ゴミも大切な資源です。最後まで考えましょう）

⑤ゴミを収集する人の安全性も考えて。（ガラスの破片等でケガをします）

紙くずはくずではない

ゴミとして捨てられ、燃やされている紙のほとんどが再生できます。古新聞、古雑誌、包装紙、段ボール……など。できるだけ回収ルートにのせましょう。古紙1トンをゴミとして処理する経費約1万円が節約になります。また原木20本分の緑を守り、回収された古紙からトイレットペーパーなら、約4,200個できます。

横文帖

広報「よこごし」は先月号をもって第五〇号となりました。昭和四十七年六月一日発行の第一号からまる四年経過したことになります。以前「村だより」として村行政の案内をしていたものと、「公民館報」として村社会教育の連絡をしていたものを統合して新発足をしたものです。

こういう激しい変転の時代には、四年の年月というものは急速な変化が生じますし、又、過ぎてしまえば本当に早いものだという感慨も生じてきます。

今第一号を見ましたら、トップ写真に田植風景が載せてありました。早乙女が大勢で田植をしている様子と機械植の模様が対照的に写っている写真です。一年目は四季折々の横越村の人達が働く様子を主題に連載したものでした。トップ記事には四七年度一般会計予算がのせられ「総額三億七千九百万円の超大型に」という説明がついています。主な投資事業としては、学校統合用地買収並に敷地費、生活環境整備などがあります。四七号に載せられてある五一年度予算の説明では総額七億五千百万円となっており、農村モデル事業等の環境整備費統合小の整備、農業振興費があげられています。総額にして当時と比較すると約二倍、物価の値上りも考慮されますし、又村の財政能力もそれだけ向上したものでしょう。

「よこごし」は村の変遷を記録する重要な資料になるでしょう。それだけに正確に過ちのないように編集しなければなりません。時々[illegible]誤りのご指摘を頂いておりますが、村民の方々がよく読んで下さっているものと思い、心強く有難く感謝しています。今後「よこごし」が[illegible]ように、村民の皆様のご協力をお願いします。